

令和2年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストで特別奨励賞を受賞および
第6回全国ユース環境活動発表大会で東北大会に出場しました

福島西高校では、毎週水曜日の6校時「総合的な探究の時間」にSDGsをテーマに探究活動を行っています。1年生は調査したことをプレゼンテーションで発表。2年生は、グローバル地域の課題解決のために活動を実践。3年生は個人研究をします。



9月に1・2年生合同で活動動画を視聴しながら独創性・表現力・社会貢献度を基準に最優秀賞を投票により決定しました。

<最優秀賞を取ったグループ>

SDGs 目標12 つくる責任つかう責任

「食品ロスを減らそう」

半谷 凜音 大津 愛来 吉田 有沙 大橋 麻衣 (2年6組)

<活動内容>

小学校を訪問し、給食の食品ロスを減らす取り組みを学んだだけでなく、自分たちで余った材料で食品ロス対策料理を創作した。それをプリントにまとめ、小学生に紹介した。

同グループの活動は、「令和2年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」に応募し、

特別奨励賞を受賞しました。また、第6回全国ユース環境活動発表大会では県予選を通過し、東北大会に出場しました。



福島県立福島西高等学校 MARA

福島県福島市方木田字上原37番地



Action

食品ロスを減らし、食品ロスについて小学生に少しでも知ってもらい、興味をもってもらうことを目的に活動しました。

まず出身の小学生の給食の先生に話を伺いました。その後、食品ロス対策のメニューを創作し、食品ロスについて、プリントを作り、小学生に配布しました。

活動を通して、野菜のいつも捨てている部分でも様々な料理に活用でき、給食の残りは食品ロスではないことがわかりました。子どもの食べ残しからの食品ロスは仕方がないことだが、食べてもらえるように料理を工夫することも重要であり、「もったいない」の精神を忘れないことが大切です。

小学生への配布プリントの内容は、食品ロスについて、オリジナルメニュー、身近にできることなど工夫して作りました。